

4. 留学生センター教官研究業績・留学生センター出版物(1996年5月～1998年3月)

松岡 弘

論文

- (1) 「文法教育」『日本語教育』94、70-74、日本語教育学会、1997.10

報告

- (1) 「まえがき」「あとがき」『海外で教える日本人日本語教師養成についての基礎研究』平成8年度科学研究費補助金(国際研究)研究成果報告書(研究代表者:伊勢田涼子)、1997.3

教科書

- (1) 『留学生のための日本語教科書:社会科学の道しるべ』(本冊)(渡辺雅男、五味政信、杉田くに子と共同作成)、一橋大学学術日本語シリーズ2、一橋大学留学生センター、1997.3
- (2) 『留学生のための日本語教科書:社会科学の道しるべ-単語表・事項解説-』(分冊A、分冊B)(渡辺雅男、五味政信、杉田くに子と共同作成)、一橋大学学術日本語シリーズ2、一橋大学留学生センター、1998.3

三枝 令子

論文

- (1) 「「小さな旅」と「小さい旅」」『言語文化』33、97-108、一橋大学語学研究室、1996.12
- (2) 「「って」の体系」『言語文化』34、21-38、一橋大学語学研究室、1997.12

口頭発表予稿集

- (1) 「専門基礎文献の語彙-表現調査から教材開発へ 経済学における熟語の特性を中心に」(今村和宏、杉田くに子、西谷まりと共同執筆)『平成9年度日本語教育学会秋季大会予稿集』147-154、日本語教育学会、1997.10

報告書

- (1) 『日本語能力試験の概要 1996 年版(1995 年度試験結果の分析)』(大坪一夫、村上隆他6名と共著)、国際交流基金 日本国際教育協会、1997.3
- (2) 『計算機用日本語基本名詞辞書 IPAL (Basic Nouns) - 抜粋版 -』(村田賢一、橋本三奈子他と共著)、情報処理振興協会技術センター、1997.3
- (3) 『日本語能力試験の概要 1997 年版(1996 年度試験結果の分析)』(大坪一夫、村上隆他6名と共著)、国際交流基金 日本国際教育協会、1998.3

教科書

- (1) 『帰国子女・留学生のための日本語教科書 上級日本語:経済の語彙・表現』(今村和宏、西谷まりと共著)、一橋大学経済学部、1998.3
- (2) 『中・上級社会科学読解教材テキストバンク』(横田淳子、田山のり子他と共著)、東京外国語大学留学生日本語教育センター、1998.3

五味 政信

論文

- (1) 「専門日本語教育におけるチームティーチング－科学技術日本語教育での日本語教員と専門科目教員との協同の試み－」『日本語教育』89、1-12、日本語教育学会、1996.8

報告書

- (1) 『大学院電気電子工学系留学生のための専門読解教材の研究・開発』文部省科学研究費研究成果報告書（代表研究者：五味政信）、1997.3

教科書

- (1) 『留学生のための日本語教科書：社会科学の道しるべ』（本冊）（松岡弘、渡辺雅男、杉田くに子と共同作成）、一橋大学学術日本語シリーズ2、一橋大学留学生センター、1997.3
- (2) 『留学生のための日本語教科書：社会科学の道しるべ－単語表・事項解説－』（分冊A、分冊B）（松岡弘、渡辺雅男、杉田くに子と共同作成）、一橋大学学術日本語シリーズ2、一橋大学留学生センター、1998.3

鶴田 庸子

論文

- (1) 「ジャナイデスカの発生と不快さについて」『言語文化』24、113-120、一橋大学語学研究室、1997.12

今村 和宏

論文

- (1) 「論述文における「のだ」文のさじ加減－上級日本語学習者に文の調子を伝える試み－」『言語文化』33、51-78、一橋大学語学研究室、1996.12

口頭発表予稿集

- (1) 「専門基礎文献の語彙－表現調査から教材開発へ－経済学における熟語の特性を中心に」（三枝令子、杉田くに子、西谷まりと共同執筆）『平成9年度日本語教育学会秋季大会予稿集』、147-154、日本語教育学会、1997.10

教科書

- (1) 『帰国子女・留学生のための日本語教科書 上級日本語：経済の語彙・表現』（三枝令子、西谷まりと共著）、一橋大学経済学部、1998.3
- (2) 『中・上級社会科学読解教材テキストバンク』（横田淳子、田山のり子他と共著）、東京外国語大学留学生日本語教育センター、1998.3

横田 雅弘

共著書

- (1) 『アメリカ留学生生活体験ブック』(Ann Helm、堀江学、近藤祐一、Kay A. Thomas と共著)、
(株) アルク、1997.

論文

- (1) 「留学生教育交流と異文化間教育学－回顧と展望－」、『異文化間教育』10、44-58、異文化間教育学会、1996.6
- (2) 「日常の異文化接触を生かす地域のあり方－大学と地域の留学生受け入れを通して－」、鎌田修・山内博之編、『日本語教育・異文化間コミュニケーション－教室・ホームステイ・地域を結ぶもの』、173-190、(財)北海道国際交流センター 凡人社、1996.6
- (3) 「日本語の習得と文化理解－調査の視点と位置づけ」、『日本語の習得と文化理解』、異文化間教育学会調査報告シリーズ No.1、6-12、1997.3
- (4) 「対話場面の分析による文化理解の測定－場面の分析」(高井次郎、田中共子と共著) 同上、47-149、1997.3
- (5) 「対話場面の分析による文化理解の測定－15 場面全体を通してみた分析」同上、176-183、1997.3
- (6) 「留学生教育研究」(有川友子、白土悟と共著)、『異文化間教育の体系化に関する基礎的研究』、平成8年度文部省科学研究費補助金(基盤研究A)平成8年度中間報告書(研究代表者 江淵一公)、15-54、1997.3
- (7) 「青年期における留学のインパクト－日本人高校生と大学生の留学経験－」、『文化とこころ－多文化間精神医学研究』、2(1)、12-16、多文化間精神医学会、相川書房、1997.4
- (8) 「在住外国人との関わりから考える地域・個人の『国際化』」『実践国際交流』、(財)大阪国際交流センター、109-114、1997.9
- (9) 「外国人留学生の適応と教育」、江淵一公編『異文化間教育研究入門』、67-84、玉川大学出版部、1997.11
- (10) 「留学生教育研究－異文化間教育学における留学生教育交流」(有川友子、白土悟と共著)、『異文化間教育の体系化に関する基礎的研究』、平成9年度文部省科学研究費補助金(基盤研究A)平成9年度中間報告書(研究代表者 吉谷武志)、45-82、1998.3
- (11) 「インターフェースとしての学生サークル」『日本人学生と留学生：相互理解のためのアクションリサーチ』、平成7、8、9年度文部省科学研究費補助金(基盤研究 B(1))研究成果報告書(研究代表者 箕浦康子)、36-45、1998.3
- (12) 「インターフェースとしての授業－一橋大学の場合－」同上、56-62、1998.3

西谷 まり

論文

- (1) 「外国人子女支援ボランティアの現状と将来性」『JALT 日本語論集』、65-74、JALT 日本語部会、1997.10
- (2) 「教育の国際化と短期留学生受け入れプログラム」（花見楨子と共著）『留学生教育』 2、21-38（分担 23-28、31-33、36-37）、留学生教育学会、1997.11

口頭発表予稿集

- (1) 「専門基礎文献の語彙－表現調査から教材開発へ 経済学における熟語の特性を中心に」（三枝令子、今村和宏、杉田くに子と共同執筆）『平成9年度日本語教育学会秋季大会予稿集』、147-154、日本語教育学会、1997.10

報告書

- (1) 『小学校における外国人子女に対する日本語教育の実態に関する研究』文部省科学研究費奨励研究（A）研究成果報告書、1997.3
- (2) 『一橋大学における交流学生の受け入れ－面接調査が示すその特徴と学生・教官の評価－』（花見楨子と共著）、一橋大学留学生センター、1997.10

教科書

- (1) 『帰国子女・留学生のための日本語教科書－上級日本語：経済の語彙・表現－』（今村和宏・三枝令子と共著）、一橋大学経済学部、1998.3

水野 治久

論文

- (1) 「留学生の援助モデルに関する研究」『留学生教育』2、11-19、留学生教育学会、1997.11
- (2) 「アジア系留学生のヘルパー志向性に関する研究」『一橋論叢』119、340-348、1998.1
- (3) 「アジア系留学生の被援助志向性と適応に関する研究」（石隈利紀と共著）『カウンセリング研究』31、1-9、日本カウンセリング学会、1998.2

報告

- (1) 「一橋大学における留学生カウンセリングの現状」『留学交流』9、10-11、日本国際教育協会、1997.5

事典事項執筆

- (1) 「帰国子女への援助」「外国人生徒や日系生徒とのかかわり方」國分康孝編『スクールカウンセリング事典』、東京書籍、1997.9

杉田 くに子

論文

- (1) 「上級日本語教育のための文章構造の分析－社会人文学系研究論文の序論－」『日本語教育』95、49-60、日本語教育学会、1997.12
- (2) 「学術論文における思考判断を表す文末表現の用法－「と思う」と「と考える」を中心に－」『言語文化』34、105-112、一橋大学語学研究室、1997.12

口頭発表予稿集

- (1) 「専門基礎文献の語彙・表現調査から教材開発へ－経済学における熟語の特性を中心に」(三枝令子、今村和宏、西谷まりと共同執筆)『平成9年度日本語教育学会秋期大会予稿集』、147-154、1997.10

教科書

- (1) 『留学生のための日本語教科書：社会科学の道しるべ』(本冊)(松岡弘、渡辺雅男、五味政信と共同作成)、一橋大学学術日本語シリーズ2、1997.3
- (2) 『留学生のための日本語教科書：社会科学の道しるべ－単語表・事項解説－』(分冊A、分冊B)(松岡弘、渡辺雅男、五味政信と共同作成)、一橋大学学術日本語シリーズ2、一橋大学留学生センター、1998.3

庵 功雄

論文

- (1) 「国語学・日本語学におけるテキスト研究」荻野綱男編『言語とコミュニケーションに関する研究概観』平成8年度文部省科学研究費補助金基盤研究(B)(1)(企画調査)研究成果報告書、48-70、1997.2
- (2) 「「は」と「が」の選択に関わる一要因－定情報名詞句のマーカーの選択との相関からの考察－」『国語学』188、1-11、国語学会、1997.3
- (3) “The effect of inherent characteristics of nouns on co-reference”『阪大日本語研究』9、121-142、大阪大学文学部日本語学大講座、1997.3
- (4) 「日本語のテキストの結束性の研究－指示表現と名詞の機能を中心に－」(未刊博士学位取得論文)、大阪大学文学研究科、1997.8

留学生センター関連出版物

1. 花見槇子、西谷まり『一橋大学における交流学生の受け入れ－面接調査が示すその特徴と学生・教官の評価－』、一橋大学留学生センター、1997.10
2. 松岡 弘、渡辺雅男、五味政信、杉田くに子『一橋大学学術日本語シリーズ2 留学生のための日本語教科書 社会科学への道しるべ』（本冊）、一橋大学留学生センター、1997.3
3. 三枝令子、今村和宏、西谷まり『帰国子女・留学生のための日本語教科書 上級日本語：経済の語彙・表現』、一橋大学経済学部、1998.3
4. 松岡 弘、渡辺雅男、五味政信、杉田くに子『一橋大学学術日本語シリーズ2 留学生のための日本語教科書 社会科学への道しるべ－単語表・事項解説－』（分冊A、分冊B）、一橋大学留学生センター、1998.3